

今後の行政評価局調査予定テーマ(令和元年7月1日現在)

【令和元年度】

(今後着手するもの)

【令和2年度以降】

(早期に着手することとしたもの)

○産学官連携による
地域活性化○地域住民の生活に
身近な事業の承継
等○地域公共交通の確
保○農道・林道の維持
管理

◎死因究明等の推進

◎外来種対策の推進

外来種の中には、これまでの防除等の取組にもかかわらず、その効果が十分に上がっていないものもあり、我が国の外来種対策をいかにして効果的かつ効率的に推進していくかが課題となっていることから、外来種対策の推進に関する各種施策を総合的に評価

(調査事項:外来種対策に係る政策・施策の実施状況、効果の発現状況等)

○伝統工芸の地域資源としての活用

地域活性化の推進に資する観点から、我が国の重要な文化でもある伝統工芸の取組事例を通じて、取組の経緯や活用した支援策など、事業の展開の実態を明らかにする

(調査事項:伝統工芸を地域資源・文化財として活用している取組、国等の支援施策の実施・活用状況等)

○廃校施設の有効活用等

廃校施設の活用の状況、廃校発生予測を踏まえた将来的な活用方策の検討状況、廃校施設の活用に係る地域ニーズの把握や施設管理の状況等の実態を明らかにする

(調査事項:廃校施設の有効活用の好事例、廃校施設の維持・管理の状況等)

○漁業・漁村地域の活性化

漁業・漁村地域の活性化を促進する観点から、「浜の活力再生プラン」等に基づく取組等の実態を把握し、課題を整理

(調査事項:漁業・漁村地域の現状、「浜の活力再生プラン」等に基づく取組の実施状況等)

○要保護児童の社会的養護

保護者のいない児童、被虐待児童など社会的に養護されている児童の保護・養育・自立支援に係る施策の実施状況等について実態を把握し、課題を整理

(調査事項:一時保護の受入体制の整備状況、児童養護施設・里親等の確保・運用状況等)

○土壌汚染対策

土壌汚染対策の円滑な実施を図る観点から、汚染の把握や対策状況を明らかにし、課題を整理

(調査事項:土壌汚染の対象となる土地の把握、長期間要措置区域に指定されている要因等の状況等)

○火山防災対策

○地域防災対策
(中小河川対策)

○災害廃棄物対策

○マンション管理

○高齢者の居住の
安定○子育て支援
(産後ケア)○子育て支援
(企業主導型保育)

○スマート農業

○海洋汚染対策

◎地理空間情報

- ・ 現下の重要課題の解決に資するため、関係機関と連携して調査を実施することとし、当面、マイナンバーカードの普及、引っ越し等に伴う手続のワンストップ化及び地方分権改革に伴う制度の見直し等について調査を実施
- ・ 必要に応じて、特定課題に重点化した調査(コンパクト調査)や政府として早急に対応すべき課題について機動的な調査(臨時調査)を実施

(注)「◎」は「総務省が行う政策の評価」を、「○」は「行政評価・監視」を示すものとする。